



# もう少しでごみが捨 てられなくなる!?

わたしたちが生活する中では、さまざまなごみがたくさん出ています。人間が  
たくさんのごみを出し続けていることでいろいろな問題が起きています。

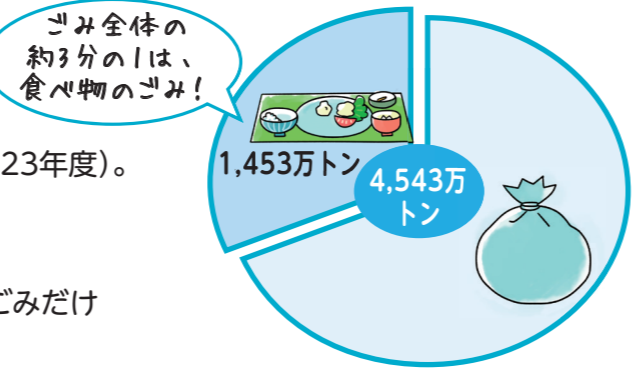
## 1年間のごみの量はどれくらいだろう?

**1年間のごみは4,543万トン!**

日本で、1年間に出るごみの量は4,543万トンです。  
1人1日当たりでは976グラムのごみが出ています(平成23年度)。

**食べ物のごみは1,453万トン!**

お店での売れ残りや家庭での食べ残しなど、食べ物のごみだけ  
でも1年間に1,453万トンも出ています(平成23年度)。



## 知ってる?

### 大人になったらごみが捨てられなくなる!?



10才のわたしたち

30才のわたしたち

多くのごみは燃やされたり、細かく砕かれて、最後には処分場に埋め立てられています。しかし、このままではみなさんが大人になるころには、処分場がいっぱいになってしまい、ごみを埋めるところがなくなってしまうとされています。  
平成24年度末の時点では、このまま毎年同じ量のごみを出し続けると、あと19.7年でいっぱいになると予測されています。

身近な環境問題 / ごみの問題

## 「3R」と「もったいない」が合言葉!

### 3Rにチャレンジ!

ごみがあふれている問題を解決するためには、ものを使う量やごみの量を減らし、くり返し使うこと、またリサイクルすることを心がけて、今までごみだったものを資源としてくり返し使うことが必要です。誰でも始められる「3R」に積極的にチャレンジしてみましょう!

### 3Rって?

3つの行動をポイントにして、今までごみだったものを資源としてくり返し使う活動が「3R」です。3つの行動を示す3つの英語の最初の「R」を表した言葉です。

**R** リデュース Reduce :  
使う資源やごみの量を減らすこと

- つめかえのできる製品を選んで買う
- 必要のない包装は断る
- マイバッグで買い物をする

**R** リユース Reuse :  
ものをくり返し使うこと

- こわれたものを簡単に捨てずに修理して使う
- マイはしを持ち歩いて使う
- いらなくなったものは捨てずに必要な人にゆずる

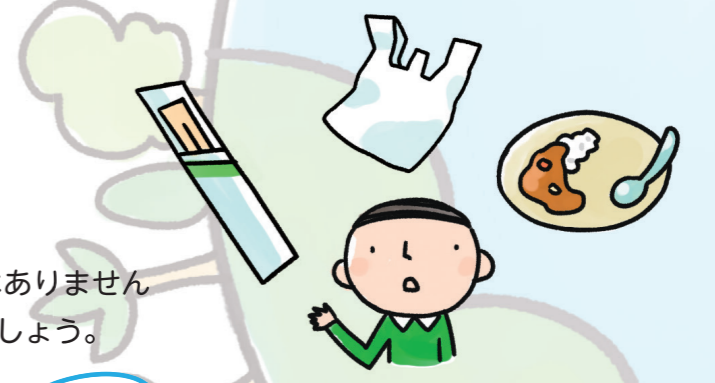
**R** リサイクル Recycle :  
使い終わったものを資源として再び利用すること

- 古新聞や古紙を資源回収に出す
- リサイクルボックスでごみを分別する
- リサイクルされた製品を選んで使う

## もったいないを探そう



身の回りで、資源がむだになっていることはありませんか? いろいろな「もったいない」を探してみましょう。



## むだのない社会を考えてみよう



今までごみにしていたものを資源としてくり返し使う、むだのない社会を「循環型社会」といいます。「3R」や「もったいない」という言葉を合言葉にして、どんな行動がむだのない社会をつくるか、考えてみましょう。

